

外来満足度調査を行いました

年に一度、5月ごろに外来待ち時間調査を、7月ごろに外来満足度調査をしています。

多くの方に満足と評価を受けておりますが、まだまだ課題も多くあり、皆様に快適な外来環境を提供できるよう、これからも努力していきたいと思っております。

今年も外来待合ロビーに調査結果を掲示しております。



アンケート結果(抜粋)

Q: 当院を知るきっかけは何でしたか?

他医療機関からの紹介…45%、家族に勧められて…18%、知人友人に勧められて…9%、看板広告を見て…4%、インターネットを見て…4%、その他…16%

Q: 診察までの待ち時間はどのように感じられましたか?

とても長い…5%、長い…36%、普通…44%、気にならない…12%、まったく気にならない…2%、未回答…1%

Q: プライバシーの配慮は感じられましたか?

とても配慮されている…16%、配慮されている…56%、どちらともいえない…23%、配慮されていない…2%、まったく配慮されていない…1%

～ 最善の行動と信頼 ～

医療法人 同和会 千葉病院

【病院概要】

- 診療科
精神科・神経科・歯科（要予約）
- 院長
小松 尚也
- 外来診療時間
平日9:00～12:30（月曜日のみ9:30～12:30）
土曜日9:00～12:30（午後は予約制）
- 休日
木曜日・日曜日・祝祭日・6月1日（創立記念日）
- 所在地
〒274-0822 千葉県船橋市飯山満町2-508
Tel: 047-466-2176 Fax: 047-466-7503
ホームページ: //www.chiba-hp.on.arena.ne.jp



千葉病院 患者様の権利

- ①個人として、人格およびプライバシーが尊重されます。
- ②安全な環境で、可能な限りの良質な医療が提供されます。
- ③職員のいかなる行為に対しても説明を求め苦情を申し立てることができます。
- ④精神保健福祉法に則った医療および処遇が保障されます。
- ⑤職員から思想・信条・宗教および個人的関係は強制されません。
- ⑥個人情報保護されます。

発行: 医療法人同和会 千葉病院
発行日: 平成25年12月1日
住所: 千葉県船橋市飯山満町2-508
Tel: 047-466-2176 Fax: 047-466-7503
URL: //www.chiba-hp.on.arena.ne.jp/

編集後記

あつという間に年の瀬を迎えました。本紙は年4回の定期発行なので、一年が過ぎる早さをより身近に感じることができます。今号では9月より就任した小松新院長のご挨拶を掲載しました。新体制のもと、来年もより充実した医療を提供できるよう、職員一同頑張っております。



千葉病院広報紙 2013. 冬号（第43号） 発行者 医療法人同和会 千葉病院

小松尚也院長就任

9月1日より、小松尚也医師が、医療法人同和会千葉病院第5代病院長に就任いたしました。小松医師は千葉大学医学部精神科を経て、平成17年より当院副院長として在職しております。以下、小松新院長の挨拶を掲載させていただきます。

就任挨拶

平成25年9月1日より、医療法人同和会千葉病院の第5代の院長を拝命することになった小松尚也です。此度、同和会理事長の服部孝道先生からのご推薦を受けまして、病院管理者としての使命を果たす決意をいたしました。精神科医として、管理職として、未熟な面は多々あるかと思いますが、前任の鈴木洋文先生から受け継いだバトンを手に、全力で前に踏み出す覚悟をいたしました。とはいうものの、最初から気張りすぎて、転倒したり、コースを踏み外しては元も子もありません。周囲を見渡しながらの慎重な滑り出しを心掛けたいと存じます。

私は、昭和63年に千葉大医学部を卒業、同年に千葉大の精神医学教室に入局しました。入院病棟、外来棟を毎日、文字通り走り回っていました。先輩の先生方にはいろいろなことを教えていただきました。その後、銚子市立総合病院の精神科、松戸市立病院の神経内科の研修を経て、千葉大の大学院に進学しました。そこではPET装置を使って、脳の代謝や血流を測定する研究を行い、博士号を取得しました。

学位取得後 千葉大に在り 年間勤務 21

「見る前に飛べ」

当院に来たばかりの私のひそかなモットーは「見る前に飛べ」でした。診療でこれをしてはいけません、自分の行動原理ではいいだろうと思っていました。いろんな部署や場所（お酒の香りのする場所含む）に顔を出し、また様々な人の話を伺う。訪問に付き添ったこともありますし、無断離院された方のお迎えにも複数回行きました。



小松尚也新院長

平成20年の基幹病院システムで実質上精神科救急が立ち上がった際も、初日当直で千客万来でした。産業医が必要となれば、平成21年に急いで取得、もうすぐ5年が経とうとしています。また平成23年の東日本大震災の派遣では、気仙沼市の光が丘保養所に、病院スタッフとともに1週間泊り込みに行かせていただきました。この辺は詳細に書くときりがないので、院外報のバックナンバーをご覧ください。

かように副院長として務めた8年間は鉄砲玉のごとく飛び回っていましたが、幸いなことに、同和会の職員の皆様本当に良くしていただいた記憶が残っていません。

今後、院長として求められる役割は鉄砲玉ではなく、舵取りと自覚しております。ヨットでいえばスキッパーです。ゆっくり周囲の風を見渡し、より良い風を選んで、千葉病院という大きな船が着実に進むように、舵を取ってゆきたい、というのが私の最初の所信表明です。皆様にもどうか今後とも変わらぬご協力のほど、宜しく願い申し上げます。

ここは、千葉病院の活動を紹介するコーナーです。

歯科室の紹介

歯科 林 龍介

千葉病院歯科室の紹介

歯科室は現在、歯科医師1名、歯科衛生士1名が在籍しています。
主な業務は入院患者さんの歯科治療を行っていますが、外来患者さんについても現在は開放されており、有病者、障害者を問わず受診が可能です。



林龍介歯科医師(右)と、佐久間由紀歯科衛生士(左)

歯科室の歴史

精神科に歯科が併設されていることがあることをご存じでない方が多いと思われそうですが、心の疾患を抱えた患者さんにおいて、特に口腔内に色々な問題を生じることもあまり知られていないことではないでしょうか？

歯科室は千葉病院開設後まもなくして、入院患者さんの口腔内環境の劣悪さから、近隣歯科医院の、現在船橋歯科医師会顧問である谷内先生のご尽力により、2週に1回のペースで長年運営されておりました。

そして平成12年頃より私、林が診療に参加、そのまま歯科室運営を引き継ぎ、現在、専任として週3回に回数を増やして、衛生士の佐久間さんという大きな助けを得て現在、院内外の

歯科受診について

現在、診療日が月水金のみであり、入院患者さんの治療を行う関係上**完全予約**とさせて戴いており、必ずお電話にてご予約を戴いております(月水金診療日においてのみ対応可)

お早めにご連絡戴くとスムーズに開始することができると思います。

千葉病院代表番号(047-466-2176)に連絡して戴いた上で診療の件で歯科室へつないで欲しいことをお伝え下さい。また精神科外来受診中の患者さんの場合担当医へ伝えて戴くと受診予約がスムーズです。

診療室は外来の一番奥にありますので、受診日は外来受付に一声かけて奥まで進み歯科診療室前待機場所にてお待ち下さい。

当院から地域へ 地域から当院へ

当院では、医師や看護師、作業療法士、精神保健福祉士など、様々な職種の研修・実習も受け入れております。

今年度は、初めて了徳寺大学看護学科の学生さんの実習を受け入れました。実習ご担当の先生に、感想をいただきましたのでご紹介いたします。



日中は実際に患者さんと接し、その経験を通して学んだことや気づいたことは、ミーティングの場で発表していきます。

今年度より、浦安市にあります了徳寺大学健康科学部看護学科3年生の精神看護学実習に入らせていただいております。精神科病院に足を踏み入れることも、精神疾患を抱えた患者様との関わりも初めてという学生がほとんどですが、日々戸惑いや思わぬ発見がありながら、試行錯誤を繰り返し患者様の理解に努めております。
コメディカルの皆様、病棟のスタッフの皆様をサポートしながらご指導をいただき、また何よりも患者様から元気をいただいて、精神科看護のみならず看護の醍醐味を改めて実感できる2週間を過ごしています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

千葉病院Drによる医療コラム 第17回

AD/HDとは

千葉病院医師 佐々木 剛

AD/HD(Attention-deficit / hyperactivity disorder: 注意欠如・多動性障害)とは、年齢や発達に不釣り合いな不注意さや多動性、衝動性を特徴とする発達障害で、日常活動や学習に支障をきたす状態をいいます。

AD/HDの有病率は2.5%~4%と報告されており、うつ病や、不安障害の合併もみとめられやすいことも示唆されており、その3分の2のかたは、大人になってもAD/HDの症状に困難を抱えるといわれています。

「不注意」とは集中力が続かない、気が散りやすい、忘れっぽいなど、「多動性」とはじっとしていることが苦手で、落ち着きがないなど、「衝動性」とは思いついた行動について、行ってもよいか考える前に実行してしまうなどの特性です。こうした行動は小さい子どもなら誰にでもみられるため、その程度や頻度が並はずれていてAD/HDと診断されるような場合でも、周りの人たちに障害という認識をもってもらえないことがあります。周囲の正しい理解が得られないと、こうした子どもたちは「乱暴者・悪い子・しつけのできていない子」というような否定的な評価を受けやすくなり、保護者もまた、「育て方が悪い」などの誤解を受けることがあります。

しかし、AD/HDは育て方やしつけによるものではなく、また、本人の努力が足りないためでもありません。様々な研究から、注意・集中を含む様々な行動を司る(実行機能)脳の部位は前頭前野とよばれる大脳の前の部分であることがわかってきました。特にAD/HDの子どもでは、前頭前野を含む脳の働きにかたよがりがあると考えられています。どのような対応や治療がよいかは、さらに研究が進んでいるところですが、AD/HDのこどもの自尊心を高める認知行動療法などの精神療法、療育的対応を親が学び実行すること、また状況によっては薬物療法も有効である可能性が高いと報告されています。

そのためには、周囲の方々がAD/HDを正しく理解し、保護者の方と学校関係者の方々、そして医療機関が連携し、協力することがとても大切です。